

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価			
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 特色ある教育活動に積極的に取り組んでいる生徒が75%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 総合学習、食の教室など特色ある教育活動に生徒がより積極的に取り組めるよう、テーマ設定を工夫し内容の充実を図る。また、部活動を奨励し、生徒が参加しやすい環境を整える。 生徒会活動や部活動、学校行事に積極的に取り組む生徒が満足感を得ることが多いため、あらゆる活動をおして継続的に生徒の主体性を育てる。 三修制を利用して、95%以上の生徒が3年間で卒業している。 	A	A	総合的な学習などに積極的に取り組む生徒が88%であった。今後も生徒の意欲をさらに引き出す活動内容を工夫したい。	A	A	積極的に取り組む生徒の割合が85%で前回とほぼ同じであった。生徒の意見を取り入れながら、さらに活動内容を工夫したい。	
		② 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。		A	A	自分の学校が好きだと回答した生徒は86%であった。引き続き、生徒会活動や部活動、学校行事など、あらゆる活動をおして生徒の主体性を育てたい。	A	A	自分の学校が好きだと回答した生徒は82%で、前回同様肯定的な回答が多く得られた。今後も生徒会活動や部活動、学校行事を中心に、生徒の主体性を継続的に育てたい。	
		③ 三修制を利用して、95%以上の生徒が3年間で卒業している。		B		通信科目の履修停止者が1名出てしまった。基本的な生活習慣と学習習慣の重要性について、生徒と保護者の理解の徹底をより一層図りたい。	B		三修制について理解出来ている生徒は97%、保護者は94%である。3年生1名が二学期末に退学したが、在籍生徒全員の卒業・進級を目指し指導を継続する。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 「授業がわかりやすい」と思う生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> シラバスを整備し、授業内容、評価規準、評価内容について理解を深める。 学力差の大きい生徒の実態に応じて、補助教材や学力向上対策補習を充実させ、基礎基本の定着や応用力の伸長を図る。 ステップアップサポート事業を推進し、授業研究を深める。 定期試験の前には要点をまとめたプリントを作成し、試験に対する意識を高める。 補助教材や学力向上対策補習を充実させ、保護者の協力を得ながら、個々の生徒の実態に応じたきめ細かい指導を継続する。 	A	A	授業が分かりやすいと回答した生徒は94%であり、昨年から10%上がった。引き続き生徒の実態を十分に把握し、言語活動の充実を図り、教材の精選・工夫、ICT機器の活用、個別指導等により、生徒の意欲を高めた。	A	A	授業が分かりやすいと回答した生徒は97%、保護者の授業への取り組みに対する肯定的評価も91%であり、変わらず高い評価を得ている。学力差の大きな生徒への学力向上対策補習をさらに充実させるとともに、授業研究会や校内研修会を引き続き計画的に行い、教員の指導力向上を図りたい。	
		⑤ 成績不振者は全生徒の5%以下である。		B	B	一学期は1科目成績不振者が3名出てしまった。生徒全員の卒業、進級に向け粘り強い指導を継続したい。	B	B	二学期は成績不振者が5名出てしまった。不振者に対しては個別指導や補習を充実させ、生徒全員の卒業と進級を実現したい。	
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥ 生徒に関する情報交換を週1回以上実施している。		<ul style="list-style-type: none"> 日常的に職員間で生徒に関する情報交換を行い、生徒の状況把握を密に行う。 情報を共有し、早期にいじめの発見に努め、全職員で組織的にいじめの解消にあたる。 クラスマッチや体育交流会、食の教室や校内発表会など、生徒の活動を中心とした生徒会行事を充実させる。 部活動への参加を奨励し、大会出場者の増加や大会での入賞を目指す。 遅刻や欠席の場合には必ず家庭と連絡をとり、生徒の怠慢による遅刻や欠席をなくす。 	A		日常的に職員全員が生徒の情報共有を積極的に行っている。	A		日々の職員打ち合わせをはじめ、あらゆる機会を捉えて、職員全員で生徒の情報共有を積極的に行っている。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦ いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	A		A	生活状況調査(いじめや悩み事調査)や学校生活状況から、いじめは発見されていない。	B	B	二学期末に1件のいじめが確認され、解消に向けて直ちに対応した。現在経過観察を行っている。	
		⑧ 生徒会活動が充実していると評価する生徒が75%以上である。	A		A	生徒会活動に積極的に取り組んでいると回答した生徒は83%で、昨年より8%上がった。役員を中心に行事の充実を一層図り、さらに意欲を高める工夫をした。	A	A	生徒会活動に積極的に取り組んでいると回答した生徒は82%で、前回とほぼ同じであった。学校行事や部活動をより一層充実させ、さらに生徒の意欲と主体性を高めた。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨ 欠席、遅刻者数は、定時制課程としては極めて低い状態。全生徒数の5%以下である。	<ul style="list-style-type: none"> 進路通信「船出」等をおし、進路に関する基本的情報を提供し、進路決定の支援を行う。 保護者面談を活用し、1年次より進路相談を実施する。 3年次は三者面談を実施し、保護者の理解と協力を得る。 進路意識の向上を目指し、低学年から組織的、計画的なキャリア指導を行う。 ハローワークなど外部機関との連携を図る。 	A	A	一学期は欠席率3.8%、遅刻率1.5%で、ともに低い状態を保っているが、欠席が40日を超える生徒も1名いる。生徒への継続的指導はもとより、保護者との連携をより一層図りたい。	A	A	二学期は欠席率4.7%、遅刻率2.2%であった。依然低い状態を保っているが、欠席が10日を超える生徒も数人いる。今後も保護者との連絡を密にし、協力を得ながら粘り強く指導を継続したい。	
		6 自己の生き方を考え、主体的な進路選択ができるよう、計画的な指導を行っていますか。		⑩ 進路通信等を年6回以上発行する。	A		内容の充実を一層図り、生徒が進路を考える上で参考となる情報を提供する。	B		進路通信「船出」の発行や進路説明会等の実施により、生徒が進路を考える上で参考となる情報を、より積極的に提供する。
		7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。		⑪ 家庭での話し合いを促し、生徒の将来の志望について理解している保護者が65%以上である。	A	A	生徒を理解していると回答した保護者は75%で、理解されていると回答した生徒は72%であった。より一層の相互理解を促したい。	A	A	生徒を理解していると回答した保護者は84%で9%上がり、理解されていると回答した生徒は76%であった。引き続き家庭での話し合いを促したい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑫ 好ましい職業観を育成するよう、在学中に就業体験をした生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学校生活の様子や行事等の予定など、写真や図を多く取り入れ、読みやすいものを発行する。 全日制と連携しながら、学校行事や授業の様子などをわかりやすくまとめ、発信する。 保護者面談を実施し、すべての保護者と面接を行う(6月)。 大きな学校行事では保護者案内を行い、関心を高め参観を促す。 公開授業(6月、11月)の他、中学校訪問や中3生の授業見学を随時実施する。 	B	B	アルバイトを含めた在学中の就業者は65%であった。1年生は半数が未経験者なので、今後好ましい職業観の育成を促すよう指導を充実させたい。	B	B	アルバイトを含めた在学中の就業者は73%となり、1・2年生の就業者は74%となった。好ましい職業観の育成を促すよう、さらに指導を充実させたい。	
		⑬ 学校便り等(5:30新聞及び5:30新聞ミニを含む)を月2回程度発行する。		A	A	学校からの情報発信は適切であると回答した保護者は96%であった。	A	A	学校からの情報発信は適切であると回答した保護者は87%であった。より一層の充実を図りたい。	
		⑭ ホームページの更新を毎月実施する。		A		5:30新聞ミニに加え、5:30新聞も閲覧形式を工夫して掲載している。	A		毎月発行の5:30新聞ミニに加え、5:30新聞も閲覧形式を工夫して掲載している。	
		⑮ 保護者面談の他、公開授業を年2回以上行う。		A	A	6月に保護者面談及び三者面談、公開授業を実施した。利根沼田地区中学校、定時制高校にも案内を出し、31名(内教員5名)の参観者があった。11月にも公開授業日を設定する。	A	A	11月に授業公開日を設定して利根沼田地区中学校、定時制高校にも公開し、16名(内教員7名)の参観者があった。中学校訪問や授業見学受け入れも積極的に行い、広報に努めた。	